

国土調査の概要

地籍調査関係

一筆ごとの土地の所有者、地番及び地目の調査、境界及び地積に関する測量

- ・基準点測量 [国]
- ・地籍調査 [市町村等]

土地分類調査関係

土地の利用現況、土壌の性質等の主要な自然的要素及び生産力に関する調査

- ・土地分類基本調査(垂直調査) [国]
- ・都道府県土地分類基本調査 [都道府県]
- ・土地分類調査(細部調査) [市町村]

水調査関係

陸水の流量、水質等及び水利に関する調査

- ・水基本調査(地下水調査) [国]
- ・水系調査 [国・都道府県]

国土調査

(昭和26年)
国土調査法

地籍調査の現状

- 国土調査は、国土調査促進特別措置法（昭和37年）に規定する国土調査事業十箇年計画に基づき実施しており、昭和38年以降、5次にわたり十箇年計画を策定〔現行計画は平成21年度末まで〕
- 国土調査の主要な調査である地籍調査の進捗率は、全国49%、うち都市部(DID) 21%、山村部42%（平成21年度末見込）

		対象面積(km ²)	実績面積(km ²) (H21年度末見込)	進捗率(%) (H21年度末見込)
D I D		12,255	2,583	21
非 D I D	宅地	17,793	9,099	51
	農用地等	72,058	51,414	71
	林地	184,094	76,957	42
合計		286,200	140,053	49

地籍調査を実施しない場合に生じる問題

- 土地資産の保全・取引に支障
- 災害復旧の遅れ
- まちづくりへの支障
- 適正な森林管理等への支障



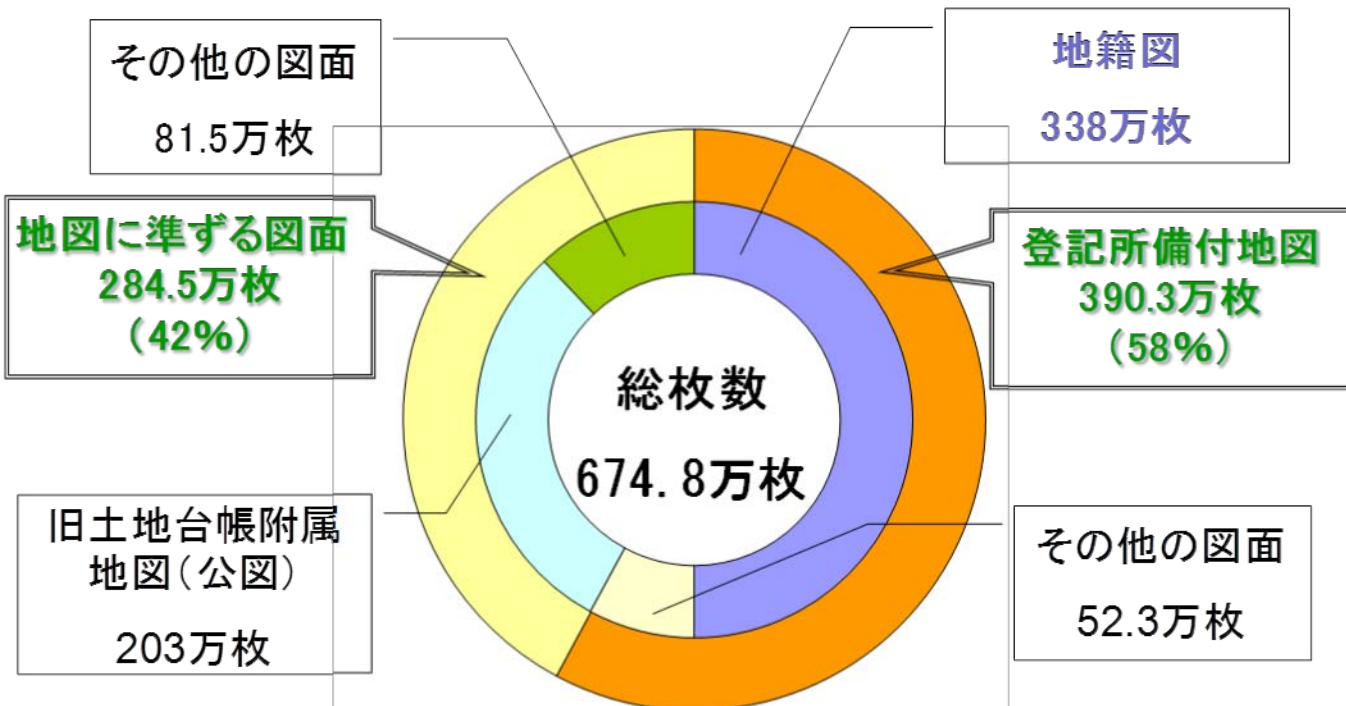
地籍調査により
登記所の図面が
正確なものに移行

公図と現況のズレ
赤線: 登記所に備え付けられている図面(公図)の筆界。登記の対象となる土地の区画を示す。
黒線: 実際の現地の状況。

都市部における公図と現況のズレ
1m以上ずれている地域が52.3%
(国土調査課調べ)

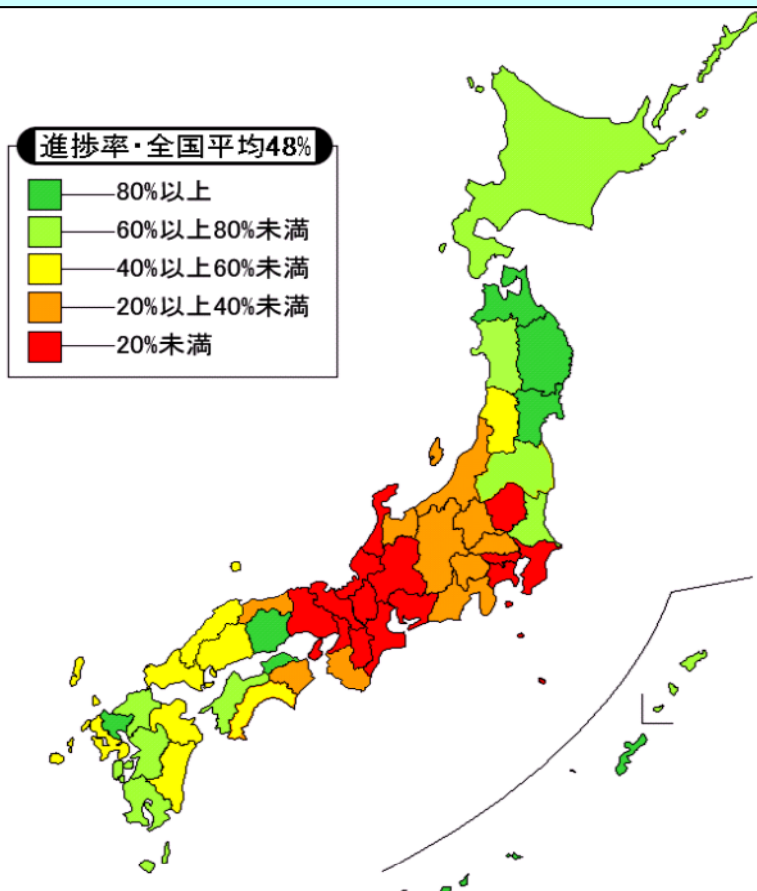
〈参考〉

登記所備付けの図面の現状



(平成21年4月1日現在)

地籍調査における都道府県別進捗状況



地籍調査実施状況（全国）

【調査対象面積に対する実施状況(S26～)】

		対 象 面 積 (km ²)	実 績 面 積 (km ²) (H21 年度末見込)	進 捗 率 (%) (H21 年度末見込)
D I D		12,255	2,583	21
非 D I D	宅 地	17,793	9,099	51
	農用地等	72,058	51,414	71
	林 地	184,094	76,957	42
合 計		286,200	140,053	49

(注1) 対象面積は、全国土面積(377,880km²)から国有林野及び公有水面等を除いた面積である。

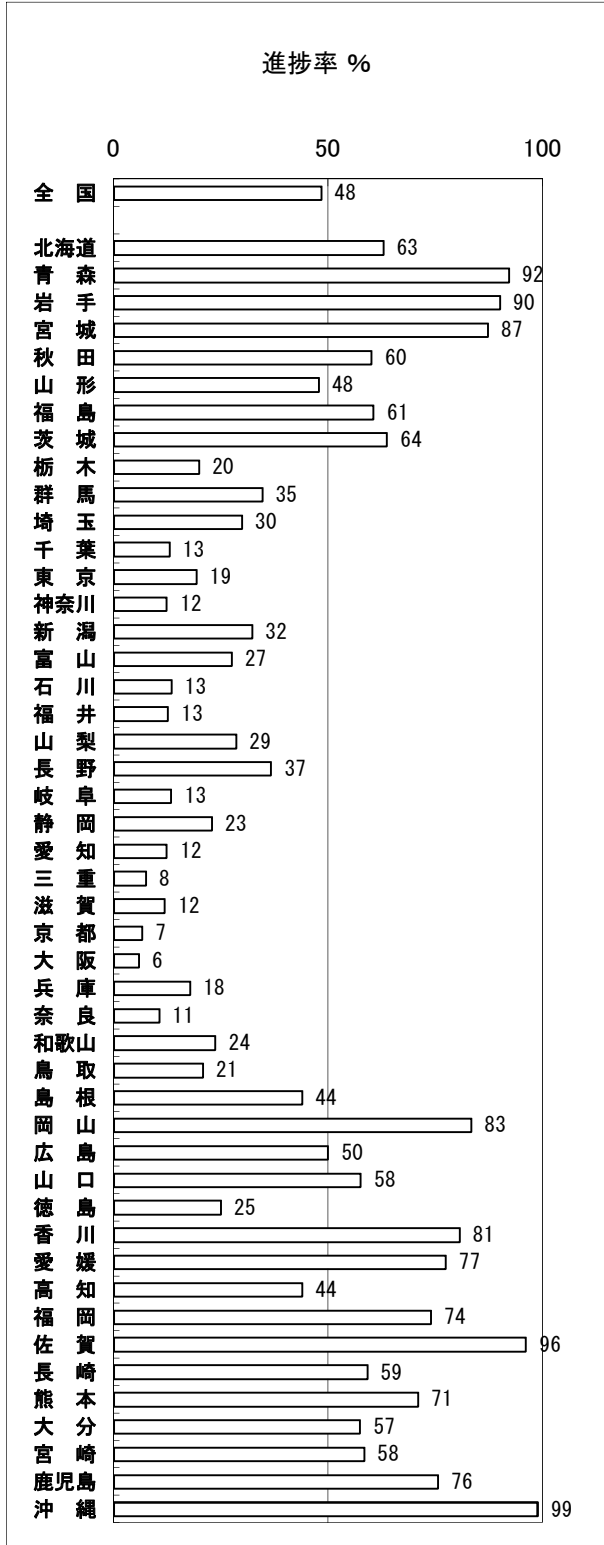
(注2) D I Dは、国勢調査による人口集中地区のこと。Densely Inhabited Districtの略。人口密度4,000人/km²以上の国勢調査上の基本単位区が互いに隣接して、5,000人以上の人口となる地域。

【市町村の地籍調査着手状況(H21年度末)】

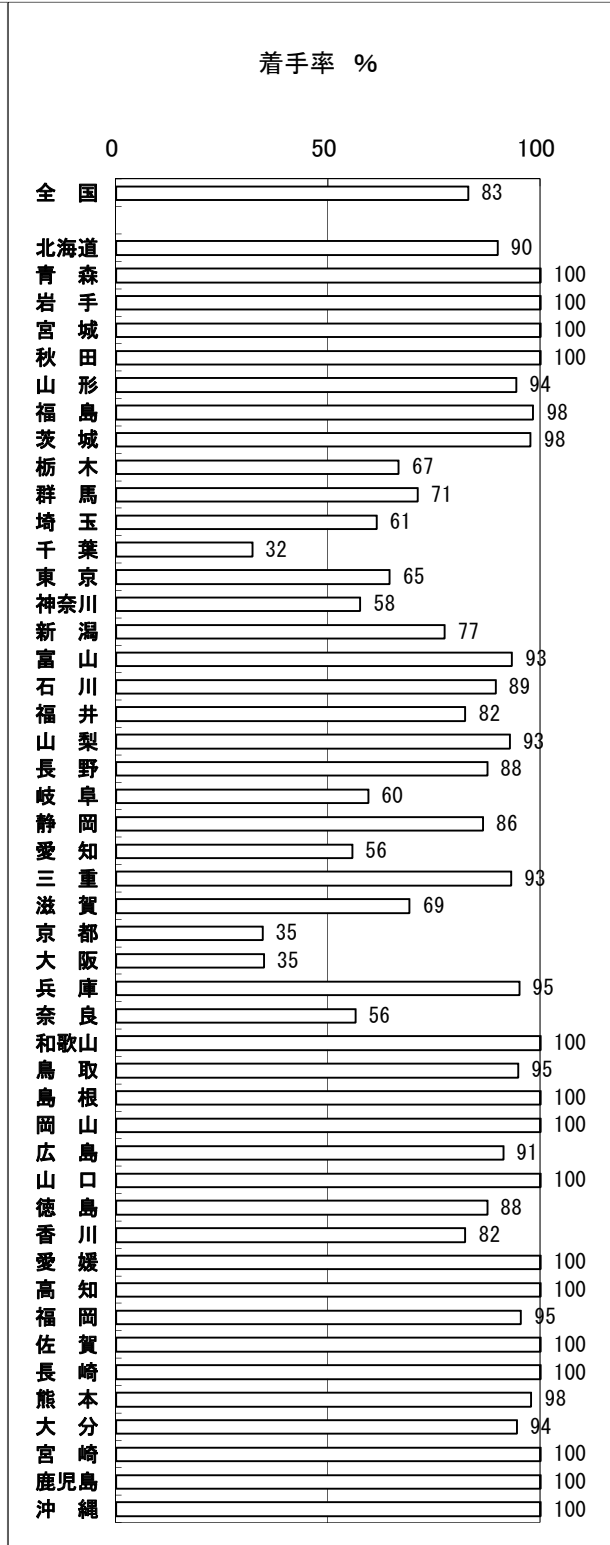
	市 町 村 数	比 率
地籍調査着手市町村(A+B+C)	1,473	84 %
全域完了市町村(A)	(423)	(24 %)
調査実施中の市町村(B)	(723)	(41 %)
休止中の市町村(C)	(327)	(19 %)
地籍調査未着手の市町村	277	16 %
合 計(全市町村)	1,750	100 %

地籍調査実施状況

①都道府県別進捗状況（平成20年度末）



②都道府県別市町村着手状況（平成20年度末）



第6次国土調査事業十箇年計画(平成22～31年度)の計画事業量(案)

		第5次計画		第6次計画 事業量(案)	
		計画事業量	実績(見込み)		
基準点の測量 (点)		14,000	11,553 (83%)	8,400 (人口集中地区以外で実施)	
地籍調査の基礎 とするために行う 基本調査 (km ²)	都市部官民境界 基本調査	—	—	3,250	(1,250)
	山村境界基本調査				(2,000)
地籍調査 (km ²)		34,000	16,400 (48%)	21,000	
土地分類基本調査(土地履歴調査) (km ²)		—	—	18,000 (人口集中地区及びその周辺で実施)	

注 ()内の地帯別の計画量等は、閣議決定された計画量ではなく、参考として記載。
 第5次十箇年計画で実施した土地分類基本調査(垂直調査)及び土地分類調査(細部調査)は対象外とした。